

高円寺地域における新しい学校の目指す学校像について

1. 計画に掲げた目指す学校像

これまで培ってきた、杉並第四小学校における就学前教育との連携や、杉並第八小学校で行われてきた「リーダーシップを育む教育」の実践及び高円寺中学校が地域の協力を得ながら行っている職場体験学習などの教育の成果と伝統を礎にして、魅力ある学校をつくります。

すべての子どもたちが自立して社会で生き、豊かな人生を送るための基盤づくりを行う学校
 「教員相互の協力的指導」により「学びの系統性」「指導の連続性」を重視し、義務教育9年間を通して一貫性のある教育を行う学校
 6 - 3制の学校教育制度に基づき、小中学校の校種の違いによる教育的意義を大切にしつつ、子どもたち一人ひとりの発達段階に応じた指導を行う学校
 一定規模の集団を形成することにより、子どもたちの学び合いを深めるとともに、学校行事等の活性化を図り、より質の高い学びができる学校
 学年を超えた集団での活動をとおして、多様な価値観に触れ、個性や責任感、リーダーシップ等の豊かな人間性を育む学校
 高円寺地域の特性を生かし、子どもたちが地域の行事や活動に積極的にかかわることによって、地域の一員としての自覚を高め、社会性を育む学校
 学校施設の複合化・多機能化が図られ地域のコミュニティの拠点となる学校

2. 各校の現在の教育目標、特色ある教育活動など

【杉並第四小学校】

<教育目標>

よく考えてやりぬく子ども
 すすんで体をきたえる子ども
 明るく思いやりのある子ども

<特色ある教育活動>

新しい学校作りに向けた小中一貫教育の取り組み
 毎週金曜日の高円寺中学校での高学年児童の生活・学習、中学校教員による指導・TT、杉並八小との協働事業

学びの連続性・関係性を捉えた学習指導
 国語科、社会科、算数科、理科、体育科、音楽科、外国語活動における中学校の指導内容への連続した指導の展開

子・小・中の11年間を見通した食に関する指導

日常的な子小中の授業における交流活動

阿波おどり・壁画制作等の合同活動、運動会等行事への相互参加

「学び支援本部」の積極的な活用

「図書」「花作り」「地域学習」「伝統・文化」等の地域の教育力を生かした指導の充実、地域との協働

【杉並第八小学校】

<教育目標>

思いやりのある子
 よく考える子
 たくましい子

<特色ある教育活動>

言語能力向上拠点校
 基礎・基本を確実に身に付け、生涯にわたって自ら学習する意欲を向上させる

生活科・総合的な学習の時間の充実と推進
 地域の人や教育財産を活用し、体験的な学習を多く取り入れた活動

代表委員会主催の各種行事
 1年生を迎える会、6年生を送る会、児童が創りあげる運動会 など

「開かれた学校」の充実をめざして
 子育てネットワークの推進(杉八キャンプ村など)、土曜日学校(サタハチ)の運営

個性を伸ばす指導
 日本建築学会との環境教育の授業、パラリンピック日本代表選手による講演会 など

【高円寺中学校】

<教育目標>

豊かな心と体をつくろう
 よく学び深くみつめよう
 たがいに助け高め合おう

<特色ある教育活動>

「かかわり」と「つながり」を重視した義務教育9年間を通して一貫性のある教育の実施
 小・中学校の教員の「かかわり」を深め、児童・生徒の「学力」の着実な向上を図る

「豊かな心」「健康な体」の「連続した学び」を大切にし、地域の学校として教育活動を推進
 阿波おどりを軸にした小中交流、高円寺の心と市民性を学ぶ「高円寺シズンシップ」

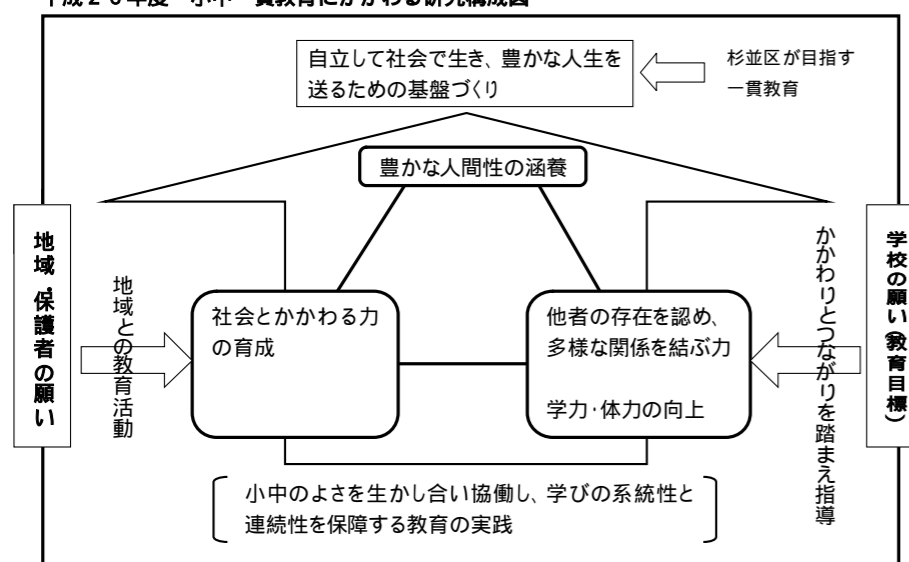
校風・伝統、小規模校の利点を生かしたきめ細やかな教育活動
 少人数学級での学級展開、数学・英語・理科で少人数指導、生徒が主役の学校行事

家庭的な温かみで豊かな人間関係の学校
 生徒会の自主的な朝のあいさつ運動、教師の深い生徒理解に基づいた指導

活発な部活動
 野球、バスケットボール、バドミントン、テニス、卓球、サッカー、吹奏楽、美術、阿波踊り、野外活動

3. 3校の小中一貫教育の取組の実践

平成26年度 小中一貫教育にかかわる研究構成図



「かかわり」と「つながり」を重視した学習とは・・・

小中一貫教育の視点からとらえた、児童、生徒の各発達段階に応じた学習のねらいや学習内容についての計画的、系統的なつながりのこと

4. 天沼小学校の例(新校舎建設の基本方針)

- 児童の豊かな創造性を発揮できる学習環境
 少人数学習、グループ学習などに柔軟に対応できる校舎とするため、オープンスペースと連動した普通教室や、大小の様々な学習空間を設ける。図書、IT、メディアなど、総合的に学ぶ場や、英語活動、ランチルーム、土曜日学校など、多様なニーズに合わせた様々な教室・設備を整備する。
 普通教室の学習環境を高めるため、可動壁、扉、吸音材など、総合的に考慮する。
- だれもが使いやすい、居心地のよい学校
 屋上・壁面緑化や風通しのよい設計を行うとともに、断熱・蓄熱性能についても検討し、環境にやさしく、児童にとって過ごしやすい学校とする。
 限られた校地の中で、可能な限り児童が運動できるスペースを確保する。
 特別支援教育の推進や固定学級の設置を踏まえ、だれもが使いやすいユニバーサルデザイン()の校舎とする。
- 安全で地域と共に歩む学校
 施設の地域開放のため、学校専用ゾーンと地域開放可能なゾーンを分けて設計したり、学校を支援する人たちのスペースに配慮する。
 見通しのよい計画や防犯カメラなどにより死角の少ない学校とする。
 災害時の延焼遮断や地域の復旧の拠点とし、十分な機能と使い勝手を備えた校舎とする。
- 地域のランドマークとして親しまれ、児童の思い出に残る学校
 杉並第五小学校、若杉小学校の両校があったことの記念となるものを校内に設置する。

5. (仮称)杉並和泉学園の例

- 小中一貫教育校のコンセプト
 学校、家庭、地域が力を合わせ、児童生徒の夢を実現するための力を伸ばす。
- キャッチフレーズ
 小中一貫教育校で伸ばす！夢を実現するための力
 遠くの学校より近くの小中一貫教育校
- 教育方針
- 9年間を見通した一貫した指導を展開し、児童生徒一人ひとりの学力や体力を着実に向上させるとともに、豊かな人間性を育む。
 - 小中学校教員の相互理解や切磋琢磨、創意工夫を活かすとともに、各種調査や学校評価等の検証に基づいた、教育活動、指導法等の工夫・改善を進める。
 - 家庭、地域との連携、協力を一層深め、地域と協働した学校づくりを推進する。
- 指導の重点
- 小中一貫したカリキュラムによる連続した学習指導の展開
 - 児童生徒のふれあいを中心とした豊かな人間性の育成
 - 運動の日常化による体力の向上
 - 社会への貢献活動、地域との協働による教育活動の一層の充実